

会議録件名 “夢”まちプロジェクト推進会議（第7回）	主管課 町田市経済観光部産業観光課
日時 2017年7月27日（木） 午後1時30分～午後3時00分	場所 町田まちづくり公社 中心市街地活性化推進室
出席者 【委員】 大塚議長、井上副議長、平本委員、米増委員、宮本委員、立木委員、鈴木委員 【オブザーバー】 服部氏 【中心市街地活性化協議会事務局】 町田商工会議所 青島氏、三嶋氏 まちづくり公社 岡崎氏、佐藤氏、橘氏 【市事務局】 遠藤係長、岸本、栗原（産業観光課）、戸田係長（地区街づくり課）	

（1）市から

①7/7「ちびヒロ×まちなかシネマ」報告

- ・「ちびヒロ」の4日間合計利用者は1000人、「まちなかシネマ」の利用者は168人であった
- ・利用者アンケートの感想では、遊び場・映画上映、休憩スペース共に満足計が大多数を占めた（回答なしを除く）
- ・近隣アンケートでは、実施期間中の売り上げへの影響について「上がった」という回答が36%、限定メニュー参加に参加した3店舗は全て「上がった」と回答
- ・今後の検討課題は「市民広場でのちびヒロ常設化」、「必要経費、活動実施者の確保」である

（市民広場でのちびヒロ常設化について）

- ・市民広場でのちびヒロ常設化について、定期的に人が来るようになることは良い
- ・今まで市民広場ではJAZZなど「音楽」をコンセプトにイベントを行ってきた。今後ちびヒロ常設化に向け検討するのであれば音楽イベントや、近隣店舗事業（年金生活者向け割引など）とのターゲットすみわけについて相談が必要ではないか。
- ・音楽イベント時に既存遊具が使えないというクレームが来た経緯があり、ちびヒロが常設化する際には遊具使用についての考え方を整理する必要がある。

⇒
市は市民広場での「ちびヒロ」常設化に向け、町田ターミナル周辺活性化協議会へ相談を行う。

（ちびヒロ開催の定義について）

- ・現段階でオーソライズされた定義はないが、SNS掲載用定義として「子ども連れ向け、中活協が関わることなど」がある。
- ・ちびヒロのような取り組みがPJ2の目指す「歩きやすいまち」へつながる。そのため、ちびヒロ開催の定義を明確にして、目的意識を持つこと、運営への配慮（ブランディングなど）が必要ではないか。

⇒
今後、ちびヒロの定義について夢まち会議の中で検討を行う。

②各商店会でのちびヒロ実施予定（現段階での予定）

- ・8/18 ターミナルロードハワイアンナイト
- ・9/3 フェスタ栄通り
- ・10/7.8 ターミナルロード大道芸
- ・10/22 文学館通り祭り

（2）中心市街地活性化協議会から

①2017年度中活協検討内容について

- ・2017中活協アクションプラン（案）について説明。
 - ・荷捌き・駐車車両実態調査検討はまちづくり部会で検討。
 - ・安全な街のための防犯活動調査、こんな「まち」にしたい検討、まちづくり視察会については正副部会長会議で検討。
- 各取り組みについては、検討の都度、取り組みを進めている目的を確認することとする。

②第2回協議会報告について

- ・新しい委員より、中活協とは何の検討をする場かという疑問があがった。
- 次回協議会の場で、まちづくり計画に関連した中活協と市の検討を委員に分かりやすい形で周知する。